

復旧・復興の進捗状況

～共に立ち上がろう 次代につなぐ新たな丸森^{まち}づくり～

令和4年7月

丸 森 町

目次

1. 令和元年東日本台風災害の概要及び被害状況 (P1)
- 2 - 1. 事業の進捗状況 (町ハード事業) (P2)
- 2 - 2. 事業の進捗状況 (国ハード事業) (P3)
- 2 - 3. 事業の進捗状況 (県ハード事業) (P4~5)
3. 事業の進捗状況 (ソフト事業) (P6)
4. 新たなまちづくり関連事業 (P7~9)

1. 令和元年東日本台風災害の概要及び被害状況

1. 令和元年東日本台風の概要

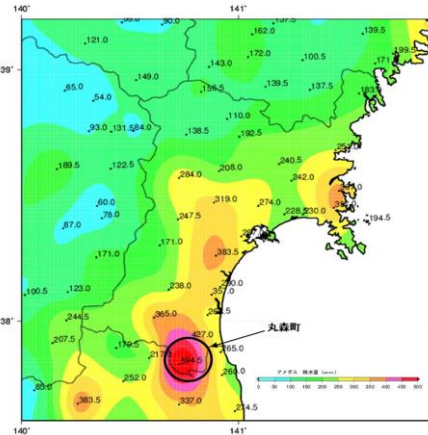
(1) 県内の降水量

表1 各地点の期間降水量（期間：令和元年10月11日午後3時～10月13日午前9時）

観測地点	市町村	降水量(mm)
筆甫	丸森町	594.5
丸森	丸森町	427.0
仙台	仙台市	383.5
雄勝	石巻市	367.0
白石	白石市	365.0
女川	女川町	357.0
岩沼	岩沼市	357.0
大衡	大衡村	319.0
名取	名取市	290.0
塩釜	塩竈市	287.0

出典：「宮城県災害気象資料」（令和元年10月17日 仙台管区気象台）から上位10地点を抜粋

図1 宮城県内の期間降水量分布図



出典：「宮城県災害気象資料」（令和元年10月17日 仙台管区気象台）を基に丸森町作成

(2) 丸森町内の降水量及び河川の水位

表2 町内各観測所の雨量および河川の水位(令和元年10月12日～10月13日)

観測所	総雨量 (mm)	最大時間雨量 (mm)	最大時間雨量記録日時
丸森	427	60	10月12日午後11時
内川	314	54	10月12日午後10時（以降破損により欠測）
笠松	560	78	10月12日午後10時
筆甫	594	74	10月12日午後8時
大内	612	77	10月12日午後10時
大張	481	55	10月12日午後10時

河川名	観測所	最高水位 (m)	降り始めからの上昇 (m)	最高水位記録日時
阿武隈川	丸森	23.44	8.56	10月13日午前5時
内川	内川	—	8.71	浸水により欠測 (10月12日午後9時に9.84mを記録)
雉子尾川	山居	7.11	6.74	10月12日午後11時20分

出典：丸森町資料

2. 主な被害の状況

(1) 人的被害

死者	10人	災害関連死	1人	行方不明者	1人	救助件数	50件 97人
----	-----	-------	----	-------	----	------	------------

(2) 家屋被害

表3 地区別の住家被害件数

(単位：件)

被災区分	地区	丸森	金山	筆甫	大内	小斎	館矢間	大張	耕野	合計
被災区分	全壊	70	4	7	7	4	2	3	4	101
	大規模半壊	132	30	7	4	25	1	4	2	205
	半壊	240	165	26	36	11	7	15	14	514
	準半壊	6	1	0	1	0	3	0	0	11
	一部損壊	77	28	16	38	9	46	13	10	237
計		525	228	56	86	49	59	35	30	1,068

出典：丸森町資料（令和4年6月30日現在）

(3) 施設及び産業関連被害

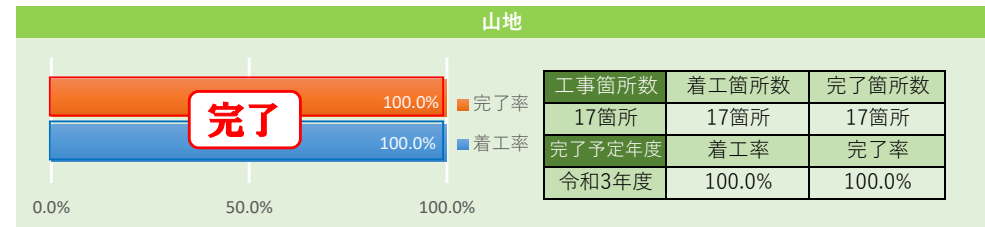
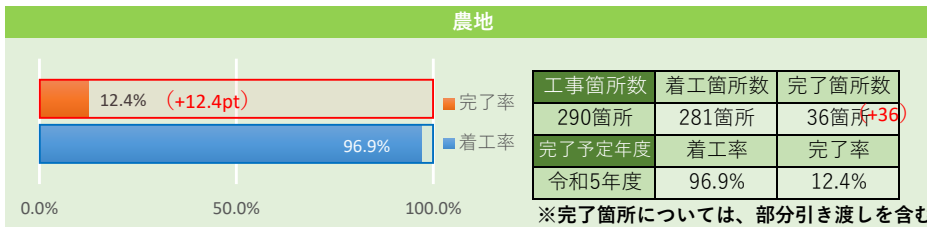
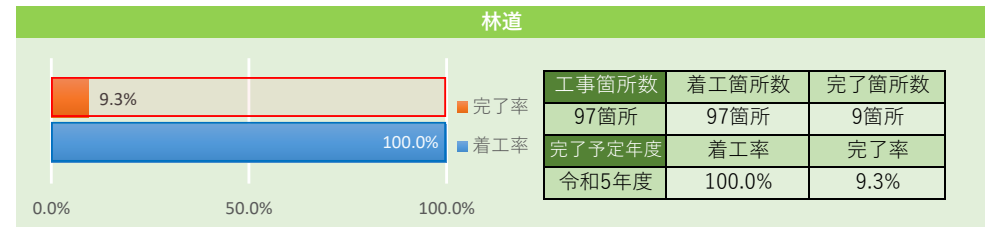
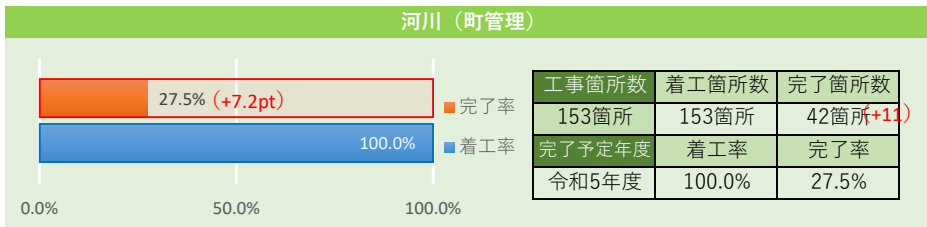
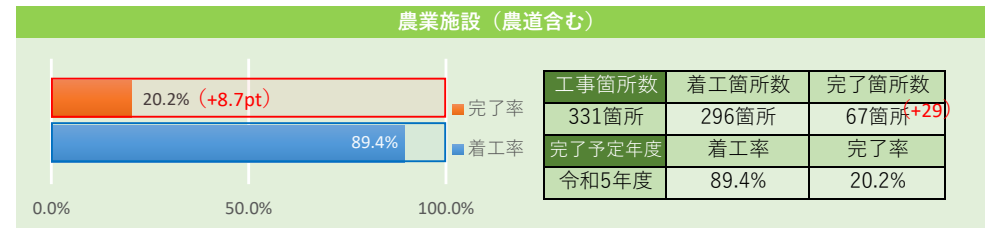
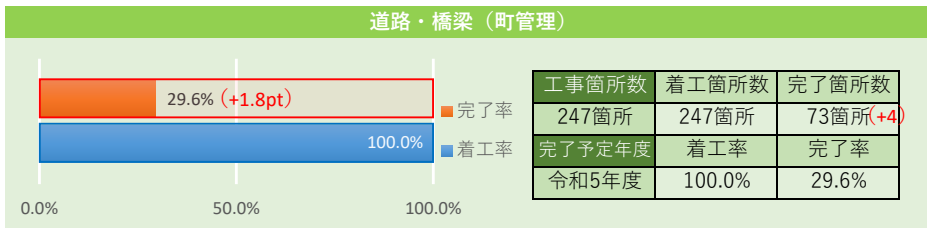
表4 施設及び産業関連の被害状況

施設名等	個所数	金額 (千円)	
公共土木施設	683	12,553,000	
土木施設	道路	341	6,428,300
	河川	338	4,764,700
	橋梁	3	260,000
	公園	0	0
都市施設	雨水ポンプ場	1	1,100,000
	農林業施設	2,216	24,678,846
農業用施設	農地	786	8,830,100
	水路	676	8,627,300
	農道	470	2,779,046
	頭首工等	108	1,850,100
林業用施設	155	2,204,000	
揚排水機場	21	388,300	
公共下水施設	3	51,000	
農業集落排水施設	2	350,000	
小計	2,904	37,632,846	
行政施設、学校教育施設、公営住宅ほか		2,402,784	
農作物 (364ha)、農業用機械等		1,145,440	
商工業関係		6,100,570	
合計		47,281,640	

出典：丸森町資料（令和4年6月30日現在）

2-1. 事業の進捗状況（町ハード事業）

R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示



七ヶ新桜町線(大内字松沢)復旧後の様子



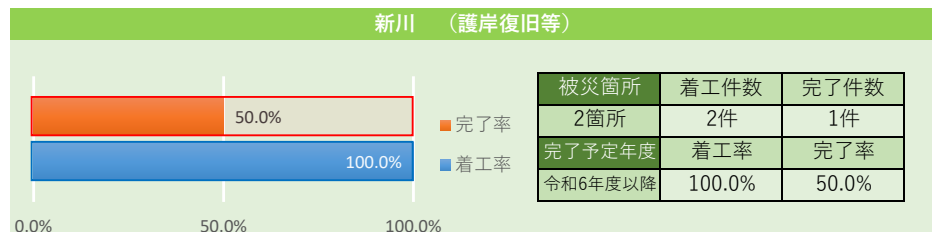
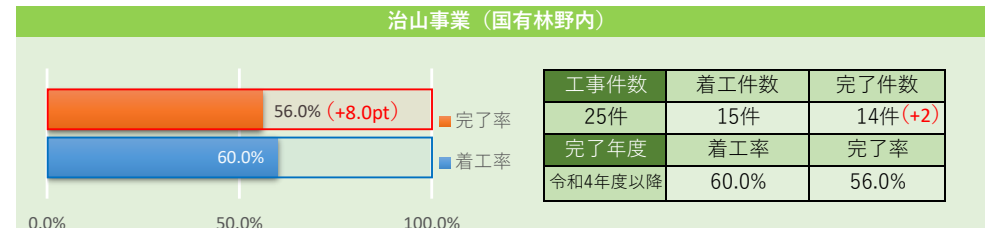
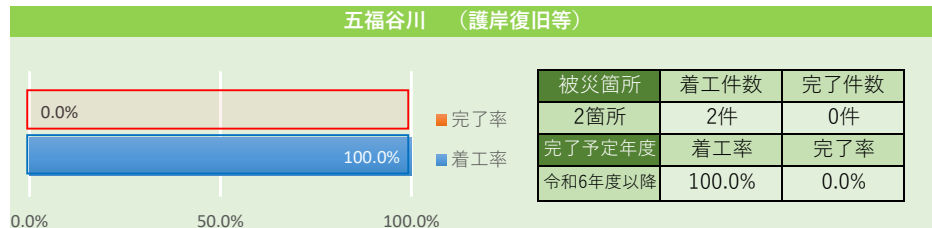
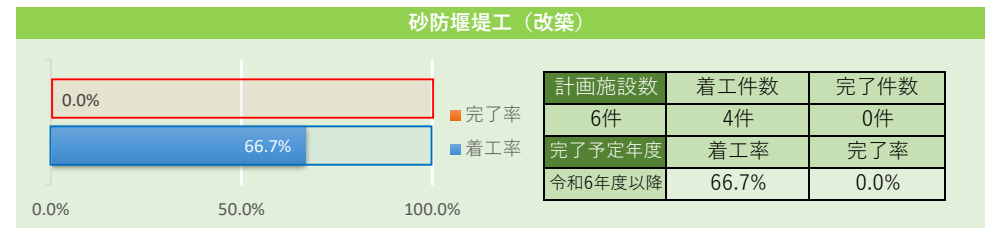
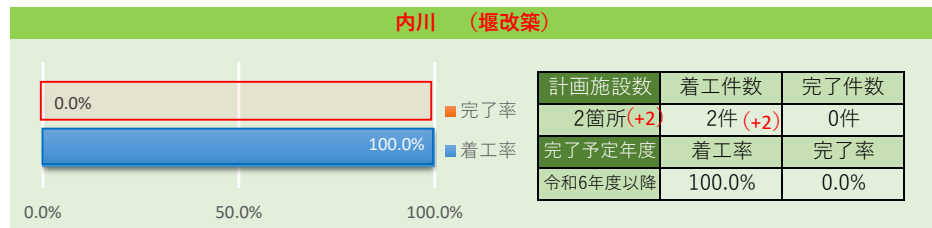
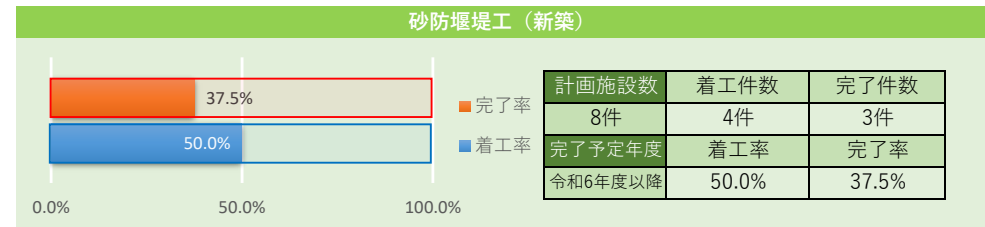
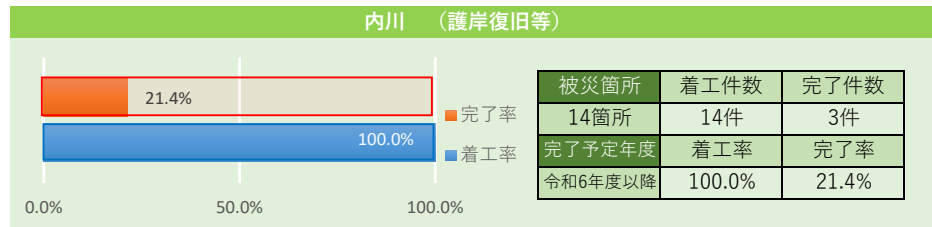
芳ヶ沢川(大内字北伊手)復旧後の様子



農地復旧後の様子(大張川張字宗膳)

2-2. 事業の進捗状況（国ハード事業）

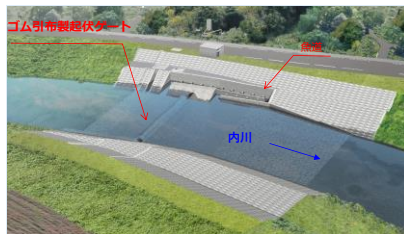
R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示



内川(東山砂防堰堤工事)の様子



内川不動尊地区（護岸工事）の様子



和田堰(丸森町字稲場)完成イメージ図



山下堰(丸森町字大目)完成イメージ図

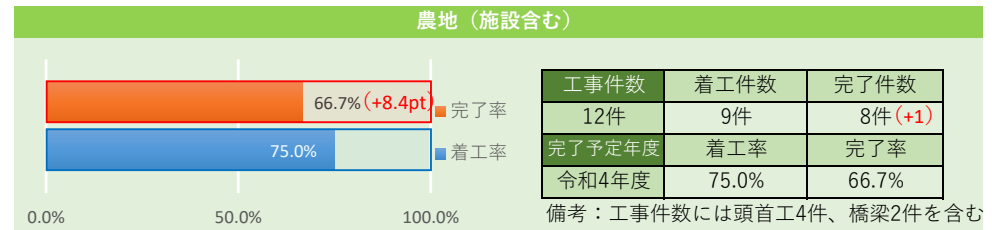
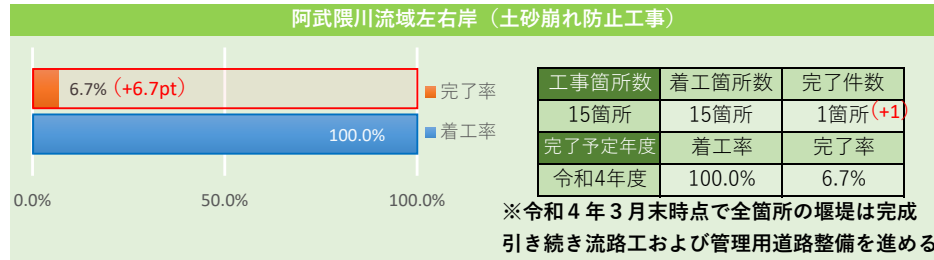
完了した国ハード事業		
事業名	件数等	完了年度
国道349号 現道復旧	36箇所	令和2年度
床固工(内川・五福谷川・新川)	3件	令和2年度

2-3. 事業の進捗状況(県ハード事業)

R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示



※石神橋から三代河原橋までの1.6km



工事実施地区名	竹谷・柳	银杏・五福谷	矢田	羽入	中通	大内	計
着工面積	40.5%	13.7%	11.7%	11.9%	11.7%	11.0%	100.5%
完了面積	40.5%	13.7%	11.7%	11.9%	11.7%	8.9%	98.4%
完了率	100%	100%	100%	100%	100%	81%	97.9%

※農地については令和4年8月に全て復旧予定



雉子尾川河道掘削実施予定箇所(金山字石神)



中平橋上部工工事・中平橋取付道路工事の様子(大内字中平)



農地復旧後の様子(丸森町字五福谷)



田面切盛の様子(大内字西畑)



流路工事の様子(大張川張字槌屋)



堰堤背面人工地山工事の様子(大張川張字片倉)



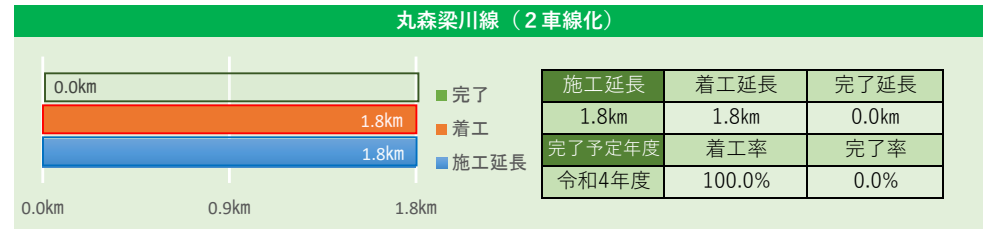
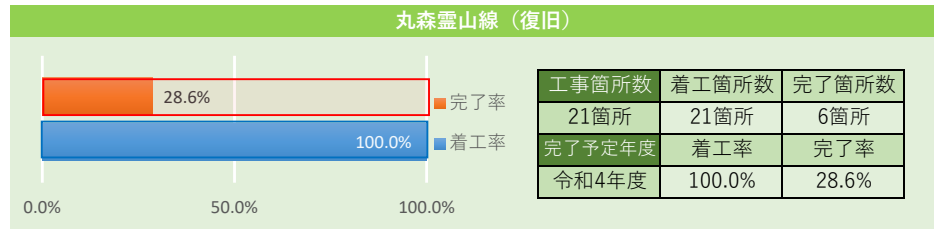
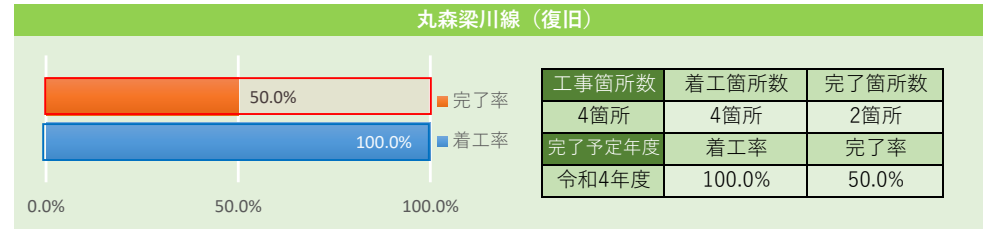
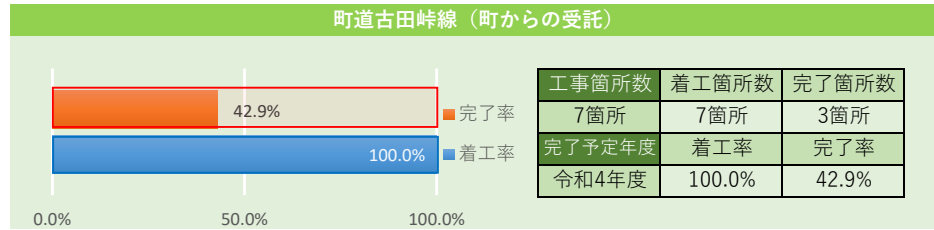
頭首工復旧後の様子(丸森町字天王)



頭首工復旧後の様子(大内字石宇)

2-3. 事業の進捗状況(県ハード事業)

R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示



県道丸森霊山線復旧工事の様子



県道丸森梁川線復旧工事の様子

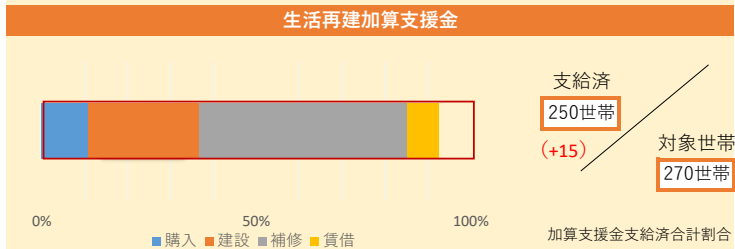
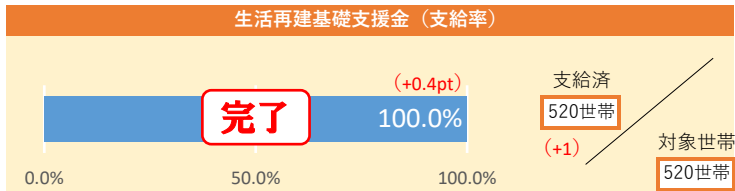


町道古田峠線復旧工事の様子

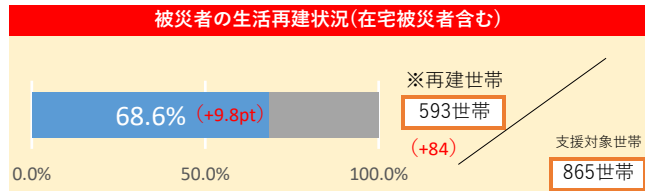
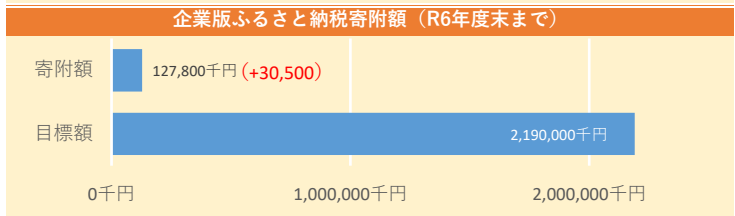
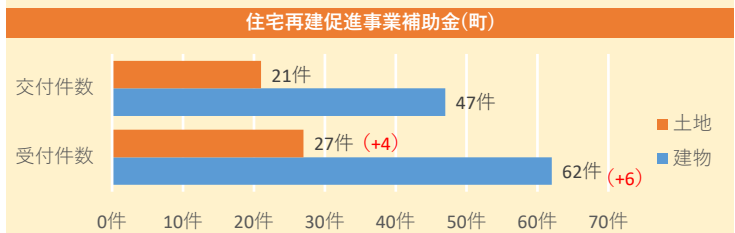
完了した県ハード事業		
事業名	件数等	完了年度
伊手川(復旧)	7箇所	令和3年度
宇多川(復旧)	7箇所	令和3年度
小田川(復旧)	5箇所	令和3年度
雉子尾川(復旧)	13箇所	令和3年度
林地(復旧)	13箇所	令和3年度
平松梁川線(復旧)	4箇所	令和2年度
金山新地停車場線(復旧)	1箇所	令和2年度
相馬大内線(復旧)	1箇所	令和2年度
角田大内線(復旧)	2箇所	令和3年度
川前白石線(復旧)	3箇所	令和3年度
白石丸森線(復旧)	3箇所	令和3年度
越河角田線(復旧)	7箇所	令和3年度
越河角田線(復旧)	8箇所	令和4年度

3. 事業の進捗状況(ソフト事業)

R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示



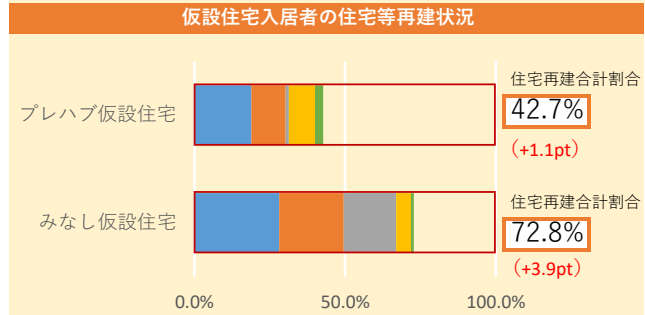
内訳	区分				支給済計
	購入	建設	補修	賃借	
	29世帯 (+4)	70世帯 (+3)	131世帯 (+2)	20世帯 (+6)	250世帯



丸森町では、住宅の再建だけでなく、下記の5項目において全て再建と判定された方を再建者数としています。

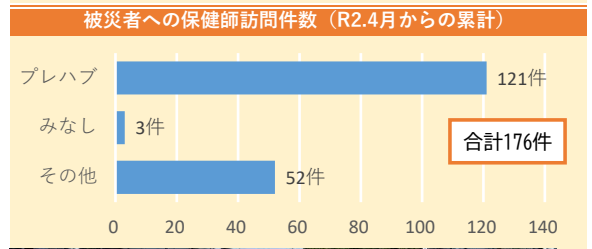
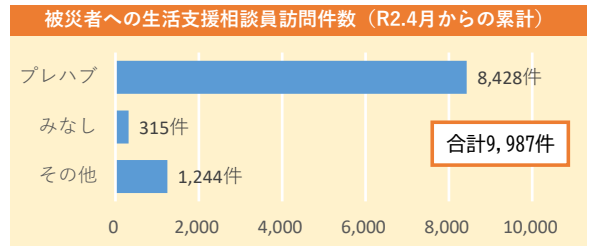
- ①制度の利用
- ②住環境
- ③被災者本人の主観 (ヒアリング結果)
- ④生活支援相談員による客観的視点
- ⑤地域関係者の客観的視点

※施設入所、死亡等含む



内訳	現入居 + 住宅再建済	区分					住宅再建計
		新築・購入	修繕等	民間賃貸住宅	公営住宅	その他 (親族と同居施設へ入所等)	
プレハブ	185件	35件 (+1)	21件	2件	16件 (+1)	5件	79件 (+2) うち町内66件 町外13件
みなし	103件	29件 (+3)	22件	18件 (+1)	5件	1件	75件 (+4) うち町内51件 町外24件

※修繕等には道路等の復旧により自宅へ戻った者を含む。



寺内仮設団地での夏野菜(トマト等)のプランター植えの様子

完了したソフト事業	
事業名	件数等
家屋解体事業 (公費・自費)	280件
民有地堆積土砂撤去事業	212件
住宅地崩落土砂撤去等事業補助金	45件
応急修理制度	337件
災害ごみ処理・運搬事業	26,300 t
災害見舞金 (町)	1,098世帯
被災事業者向け補助金 (持続化補助金)	42事業者 58,098千円
被災事業者向け補助金 (グループ補助金)	19事業者 656,886千円

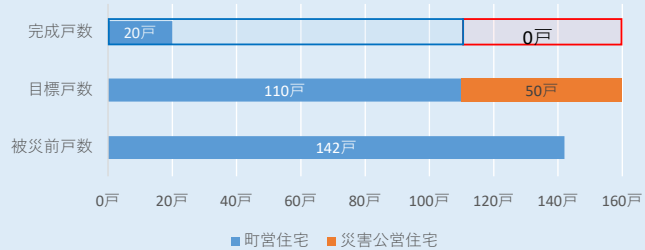
4. 新たなまちづくり関連事業

R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示

町営住宅・災害公営住宅の整備

種別	被災前戸数	目標戸数	完成戸数	入居開始予定
町営鳥屋住宅	木造 15戸	—	—	—
町営神明住宅	木造 106戸	54戸	0戸	令和4年10月~12月
	RC造 —	36戸	0戸	令和5年4月
町営竹谷住宅	木造 21戸	20戸	20戸	令和4年7月
町営神明北住宅 (災害公営住宅)	木造 —	14戸	0戸	令和5年2月
	RC造 —	36戸	0戸	令和5年7月
計	142戸	160戸	20戸	

※被災した町営住宅(神明・竹谷・鳥屋)は令和3年6月30日に解体・撤去済。



竹谷住宅(木造)完成後の様子



竹谷住宅(木造)完成後の様子(右:2LDK 左:1LDK)



神明住宅(RC造)躯体工事の様子



神明北住宅(RC造)基礎工事の様子

内水氾濫対策

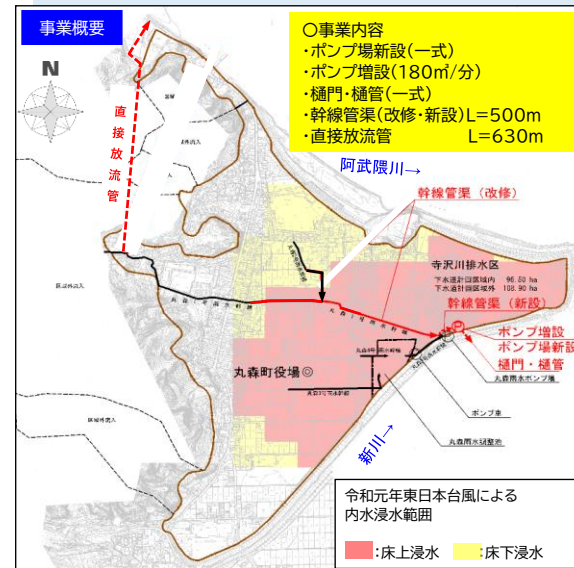
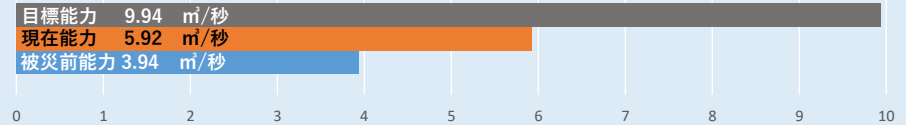
○令和元年東日本台風の降雨に伴い、内水浸水により雨水ポンプが機能停止し、町中心市街地の床上・床下浸水が428戸となる甚大な被害が発生した。

○町の復旧・復興計画では、内水氾濫対策として、雨水ポンプ場新設・雨水ポンプ増設、直接放流管整備などを行い、令和元年東日本台風と同規模の降雨に対して床上・床下浸水被害の軽減を図る。

種別	被災前能力	目標能力	現在能力	達成度	完了予定年度
(修繕) 既設雨水ポンプ場	2.94	2.94	2.94	100.0%	令和3年度
(新設) 仮設ポンプ※	0.00	(1.98)	1.98	100.0%	令和2年度
(新設) 新設雨水ポンプ場	0.00	3.00	0.00	0.0%	令和5年度
(新設) 直接放流管	0.00	3.00	0.00	0.0%	令和5年度
(修繕) 町ポンプ車	0.50	0.50	0.50	100.0%	令和2年度
可搬排水ポンプ	0.50	0.50	0.50	100.0%	-
計	3.94 m ³ /秒	9.94 m ³ /秒	5.92 m ³ /秒	59.6%	

※仮設ポンプは令和5年度に撤去するため、目標能力に含まない。

※令和5年度までの間、国土交通省ポンプ車(3.00 m³/秒)を随時要請することで排水量を補う。



事業の効果

令和元年東日本台風の降雨と同規模の内水浸水に対して、床上・床下浸水被害の軽減を図る。

<被害軽減効果>

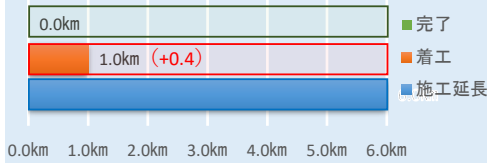
床上浸水戸数 370戸 → 0戸
床下浸水戸数 58戸 → 1戸
(非住家)



4. 新たなまちづくり関連事業

R4.6.30 現在 ※前回(R4.3.31)からの増減をカッコ書きで表示

国道349号別線(山側ルート)整備



施工延長	着工延長	完了延長
6.0km	1.0km (+0.4)	0.0km
完了予定年度	着工率	完了率
※	16.7%	0.0%

※完了予定年度は決まり次第公表する。

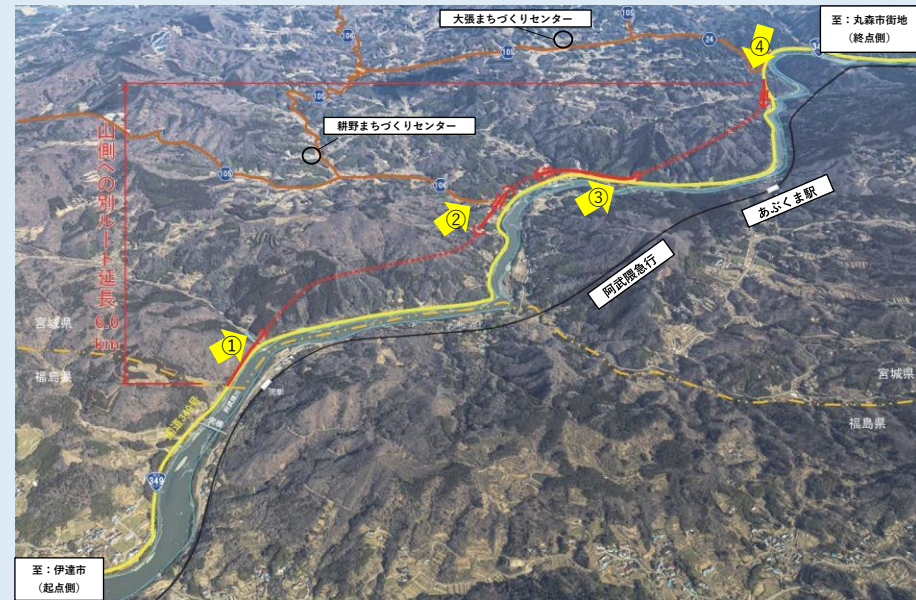
山側への別ルート整備計画

特に被害が大きく、抱えている課題も大きい約8kmの区間は、課題解消のため山側への別ルートで本復旧を進めます。山側への別ルートは、山地部をトンネルで整備し、平地部は橋梁・盛土により高台へ整備することで安全安心なルートを確認できるよう計画しています。



山側への別ルートによる整備効果

山側への別ルートで本復旧を進めることにより、国道349号が抱えている交通の安全性、土砂災害等に対する安全性、異常気象時の道路冠水の課題が解消されます。



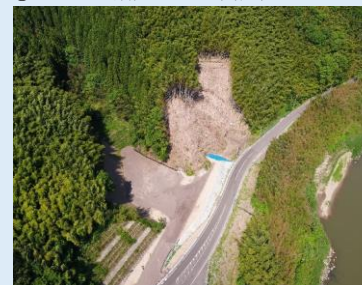
① トンネル掘削に向け準備中



② 橋梁下部工施工中



③ トンネル掘削に向け準備中



④ 橋梁下部工、道路土工(盛土)施工中



丸森地区河川防災ステーションの整備

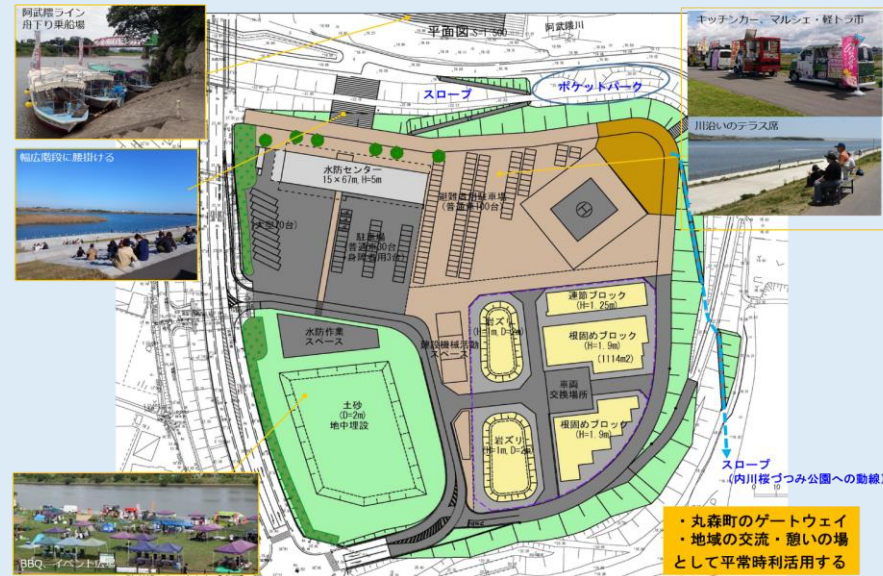
事業	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
河川防災ステーション	防災ステーション 整備・利活用	実施設計等	盛土・排水・舗装工事、資材の配置	利用開始	防災ステーション
水防センター(付帯設備)	検討委員会	基本計画	基本設計(コンペ)	実施設計	水防センター等建設工事

河川防災ステーションの平時時利活用(案)

イメージパース



河川防災ステーション施設配置計画



河川防災ステーションと一体となった周辺整備(案)



丸森地区河川防災ステーション施設利用イメージ 災害時

○ 水防活動や災害発生時の復旧活動に迅速に対応できる活動拠点として利用します。

